

パラダイムシフトと日本のシナリオ懇談会の開催について

平成 31 年 1 月 17 日

茂木経済財政政策担当大臣

1. 趣旨

日本は長く少子高齢化と人口減少の下で潜在成長率の低下や財政・社会保障の持続可能性への懸念など多くの課題に直面しているが、ここに来て中国等新興国の急速な台頭を背景とした米中間の通商問題など、グローバルな経済システムにも大きな揺らぎがみられる。不連続な技術革新によって世界の成長モデルが大きく変化する中、新たな時代に合わせて日本の経済構造を迅速に作り変えることが求められており、これによって日本が先駆者となる可能性も考えられる。

上記を踏まえ、茂木内閣府特命担当大臣（経済財政政策）の下に、日本を取り巻く内外の情勢変化に対応して中長期的に進むべき道筋を検討する「パラダイムシフトと日本のシナリオ懇談会」を開催する。

2. 検討テーマ

懇談会では、今後の将来展望についていくつかのシナリオを提示しつつ、以下の課題等について検討する。

- (1) 新たな国際経済情勢、技術革新が経済・社会にもたらす変化をどう見通すか。
- (2) グローバル化、デジタルプラットフォームの拡大と制御、内なる国際化の方向性
- (3) 上記の情勢、環境変化の下での今後のマクロ経済運営、新成長モデルの在り方（国際競争力・市場支配力の新たな源泉、国際的ルールメイキング、SDGs・人材投資等）
- (4) 人生 100 年時代の自助、共助、公助のあり方の見直し（新たな負担と給付のあり方や公正な所得分配、官と民の役割分担等）
- (5) 地域コミュニティ・行政サービス提供者としての地方のあり方（多面的地域コミュニティの再生・再構築、自立化・広域化・民営化を促す行財政の仕組み、デジタル化を基本とした業務運営・サービス提供等）

(別紙)

パラダイムシフトと日本のシナリオ懇談会
メンバー

- | | |
|--------|--------------------------------|
| 安宅 和人 | 慶應義塾大学環境情報学部教授 |
| | ヤフー株式会社 CSO (チーフストラテジーオフィサー) |
| 伊藤 元重 | 学習院大学国際社会科学部教授 |
| 大石 佳能子 | 株式会社メディヴァ代表取締役社長 |
| 大槻 奈那 | マネックス証券執行役員 |
| | 名古屋商科大学大学院教授 |
| 落合 陽一 | メディアアーティスト |
| 須賀 千鶴 | 世界経済フォーラム第4次産業革命日本センター長 |
| 高田 旭人 | 株式会社ジャパネットホールディングス代表取締役社長兼 CEO |
| 高橋 進 | 日本総合研究所チェアマン・エメリタス |
| 古市 憲寿 | 慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員 |
| 牧野 光朗 | 長野県飯田市市長 |
| 宮田 裕章 | 慶應義塾大学医学部教授 |

(五十音順、敬称略)